

# 「ACP（人生会議）」セミナー in 本庁

講演①：『 ACP「人生会議」セミナー 』

講師：きなクリニック 在宅医 喜納 美津男 氏

演題②：『 施設で行えるACP（人生会議）とは何か 』

～訪問看護の立場から現場実践を通して～

講師：ウィル訪問看護ステーション豊見城 訪問看護師 山川 将人 氏

講演③：『 どのように向き合う人生会議 』

講師：有料老人ホームくもじ 施設長 杉山 雅也 氏

講演④：『 ちむぐくルール ～ポイント⑧ 救急受診の判断と連携～ 』

講師：那覇市消防局 救急課 城田 覚 氏

講演⑤：『 緊急連携シート ～病院の立場からのお願い～ 』

講師：沖縄赤十字病院 救急医 佐々木 秀章 氏

○日 時：令和5年5月24日（水） 午後7時00分～9時00分

○場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館・講座室）

○参加者：46名

【背景】介護関連施設で、本人を中心としたACPの実践が進まない現状がある。

【目的】①本人・家族の希望があれば話し合える土壌を構築する。

②『緊急連携シート』の活用を通して救急連携のあり方について、セミナーを通し施設、医療機関、消防局との連携強化を図る。

【対象】有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム

【方法】①那覇市内4エリア（首里・真和志・小禄・本庁）へ出向き参集型で開催（最終回は本庁）

②出前講座前に、コアの施設を選定し、準備会を開催する。

【考察】8割以上の参加者が大変参考になったとの回答が多数あった。参加者より、「ACPは本人・家族のためにあり、本人がどう過ごしたいか？を普段から一緒に考え大切にする」、「普段から利用者の何気ない会話や行動などを見ながら支援していく必要があると感じた」、「同じようなケースの経験があり身に染みた」、「救急の際には、特にDNARやACPの確認は日頃から大切だと感じた」、「介護職ですべてが初めて聞いた」という感想もあり、利用者が一番近い介護職がACP（人生会議）について理解できたことは意義深い。これまでの4エリア（首里・真和志・小禄・本庁）で参加された多職種の皆様が互いに連絡を取り合い、協力しながら同じ目標に向かって利用者様をケアできる体制が整うよう、ちゅいしーじー那覇としても今後もサポートしていきたい。



司会：佐久川 伊弘 氏



講師：喜納 美津男 氏



講師：山川 将人 氏



講師：杉山 雅也 氏





講師：城田 覚 氏



講師：佐々木 秀章 氏



グループワーク「ACPを実践するための事前準備」





令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第4回 ACP(人生会議) セミナー in 本庁 アンケート結果

日 時：令和5年5月24日（水） 19：00～21：00  
場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館・講座室）  
参加者：46名 回答者：30名（65.2%）

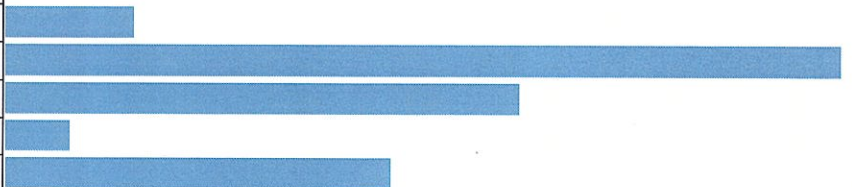
経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	2	7%
1～5年未満	7	23%
6～10年未満	6	20%
11～20年未満	5	17%
21～30年未満	6	20%
31年以上	1	3%
無回答	3	10%
総計	30	100%



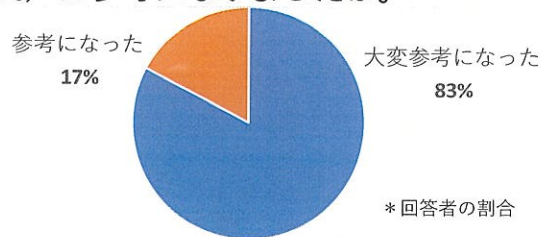
1. 職種の内訳

職種	人数	割合
看護師	2	7%
介護職（ヘルパー等）	13	43%
経営者・管理者	8	27%
地域包括支援センター職員	1	3%
その他	6	20%
無回答	0	0%
総計	30	100%



2. 『ACP（人生会議）』（講師：喜納 美津男 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	24	83%
参考になった	5	17%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	29	100%



演題：『ACP(人生会議)』（講師：喜納 美津男 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

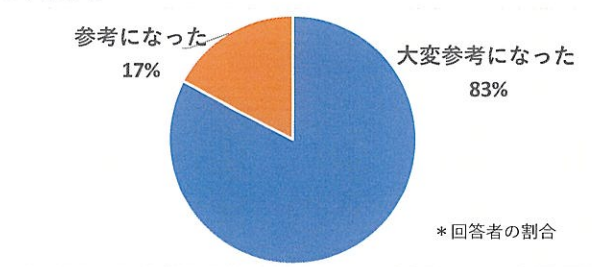
- ・在宅医の大変さも理解できました。
- ・自分自身、本人の意向に沿ったケアができていないことがあると思った。今後は、コミュニケーションを探っていければと思う。
- ・考え方と事例。
- ・ACPは本人家族のためにある。本人がどう過ごしたいか？考える。大切にする。
- ・普段からACPについて考えながら働こうと思いました。
- ・入居者の最期をどうするか。満足しているか等色々と考えさせられました。
- ・ACPについて理解できました。
- ・人生会議を知らない人が多くいると思うので、広めていくことが大切だと感じました。
- ・文章やインターネットなどではACPについて知っていましたが、今回初めてセミナーへ参加して理解を深めることができました。ありがとうございました。
- ・介護職で全てが初めてでした。

**令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業**  
**第4回 ACP(人生会議) セミナー in 本庁 アンケート結果**

- ・ ACPの大切さや日常から考えることが重要だと思いました。
- ・ 改めてACPについて理解を深めることができた。
- ・ 普段から、利用者の会話や行動などを見ながら支援していく必要があると感じました。
- ・ 意思決定の大切さと現状について知ることができた。

**3. 『施設で行えるACP（人生会議）とは何か～訪問看護の立場から現場実践を通して～』  
 （講師：山川 将人氏）は参考になりましたか。**

選択肢	人数	割合
大変参考になった	24	83%
参考になった	5	17%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	29	100%



**演題：『施設で行えるACP（人生会議）とは何か～訪問看護の立場から現場実践を通して～』  
 （講師：山川 将人氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。**

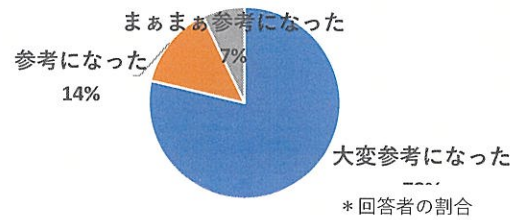
- ・ 入所時にしっかりととるべきだと思った。
- ・ 普段の関わり方での意識を変えることから変えてみても良いことがわかりました。
- ・ パターン化しない大切さ。
- ・ 周りの人の意見ではなく、本人がどうしたいのか？意思決定を大事にする。
- ・ 入居者の声を何気ない会話で情報が分かり、それを知らせてくれた方はすごくいいです。職員にも伝えていきたい。
- ・ 現場の声が生で聞けて良かったです。
- ・ 普段の関わりの中にもACPに繋がるということが分かりやすく学びになった。本人の意向に沿ったケアの大切さも学べた。
- ・ 事例を聞いたことは良かった。
- ・ 実話を通して身近に感じることができ分かりやすかった。
- ・ 在宅でのお看取りの際でも、同様の場面も多くあり、日頃本人のお話し（想い）を確認していくことが大切だなと思いました。
- ・ 私たちができる関わりについて、事例を知ることができた。
- ・ 本人の想いをしっかりと伝え、考えることが必要だと思いました。



令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第4回 ACP(人生会議) セミナー in 本庁 アンケート結果

4.『どのように向き合う人生会議』（講師：杉山 雅也 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	22	79%
参考になった	4	14%
まあまあ参考になった	2	7%
参考にならない	0	0%
総計	28	100%



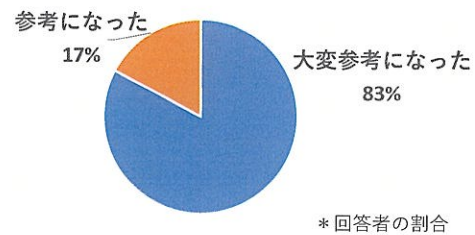
演題：『どのように向き合う人生会議』（講師：杉山 雅也 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・身寄りがない患者の施設ケアは経験がなかったので、考えるきっかけになった。
- ・本人の意思を大事にする。介護のサービスをもっと知る。
- ・同じようなケースの経験がある。身に染みた。
- ・身寄りがない人の実際の話聞いて良かった。参考になった。
- ・想いの共有ができました。
- ・素晴らしい取り組みだった。感動した。
- ・身寄りのない方の対応は課題になりました。
- ・経験したことのないケースなので大変参考になりました。
- ・本人の不安な思い、家族との繋がりがとても参考になった。
- ・事例が大変分かりやすく、なかなか聞けない貴重な話でした。
- ・身寄りがない方、家族の協力が得られない方などのACPの難しさを感じた。
- ・身寄りがない方の対応が本当の課題だと感じた。
- ・身寄りのない方のケースの難しさ、正解が分からない関わり。今からできることを考えないといけないと思った。
- ・成功例ではなくともすごく考えるきっかけになりました。

令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第4回 ACP(人生会議) セミナー in 本庁 アンケート結果

5.『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	24	83%
参考になった	5	17%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	29	100%

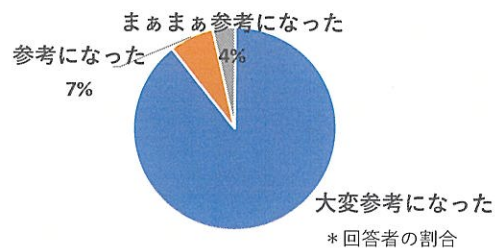


演題：『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・救急受診について、別の視点からの意見を知れて大変参考になりました。
- ・介護スタッフのスキルを向上させようと思った。
- ・連携の大事さが分かった。
- ・現状と想いが聞けてとても良かった。
- ・消防局の立場をよく理解できました。
- ・日常から資料の準備が必要だなと感じました。
- ・救急隊の役割を理解し、施設職員に周知させないといけないと思いました。
- ・DNARの重要性を知りました。
- ・消防からの情報が聞いたのは良かった。
- ・事前に事故を防止することの大切さを知ることができました。
- ・むやみやたらに救急搬送はできない。
- ・救急の際には、特にDNARやACPの確認は、日頃から大切だと感じました。
- ・必要な情報を、関わっている施設職員等で周知することの大切さを学んだ。

6.『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	25	89%
参考になった	2	7%
まあまあ参考になった	1	4%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	28	100%



演題：『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・医療現場での大変さがよく伝わった。ACPについての取組みに身が入る。
- ・病院も大変だと思いました。やっぱり連携していくことを心掛けたいです。
- ・活用します。
- ・病院の現状を知れて良かったです。
- ・緊急連携シートの活用や大事さを施設で勉強会していきたいです。
- ・意思確認を事前に確認し、それを共有して対応することが大切だと思いました。



**令和5年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業**  
**第4回 ACP(人生会議) セミナー in 本庁 アンケート結果**

- ・ ACPは重要な情報であるということが分かった、どのような終末期を迎えたいか、平時に相談する人生会議・家族会議をすることが大事であることを知れた。
- ・ 今の医療の現状を知ることの大切さを感じた。そして連携していくことも。
- ・ すごく分かりやすかったです。
- ・ 現実を知ることができた。
- ・ 平時から準備しておくことが、大変重要（大切）だと改めて感じました。
- ・ コロナ禍の中でベッドの確保も課題。必要な医療を受けるためにも、それぞれの意思決定の表示がされていることが大切だと知りました。

**7. グループワークはいかがでしたか。また、全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。**

- ・ 人それぞれ考えや意見が違い勉強になった。
- ・ 多くの職種の方が一人ひとりの人生に関わってきて終末期に向けて色々と参考になりました。
- ・ とても良い研修会でした。ACPについて考えも変わり、今自分が利用者のために何ができるのかをしっかりと考えて寄り添っていきたいです。グループワークも他者の話が聞けて良かったです。
- ・ 施設での救急搬送やDNARを改めて勉強したい。緊急連携シートの活用、家族への説明、職員への説明も。
- ・ 自分の考えが発表できた。自分の考えがまとまる助けになるはず。
- ・ 利用者様一人ひとりと深く関わっていきたい。施設で最期を迎えることもしっかり考えたい。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 意見がとてもよく出ました。会議の回し方が良かった。
- ・ 意見が活発だった。
- ・ 他施設の方と話をする機会はなかなかないので良かったです。
- ・ 楽しかった。
- ・ 様々な職種や施設の意見が聞けて勉強になりました。
- ・ 他業種の方との意見のやり取りができ、とても参考になりました。
- ・ 皆さんの意見を聞き、交流できて良かったです。
- ・ もう少し時間が欲しいです。
- ・ 事前準備。すでに生活の中から始まっていると感じました。色々な場面で色々な立場で情報をまとめたりすること、繰り返し普段の会話で確認すること。
- ・ とても参考になりました。
- ・ ACPの大切さを感じることができました。施設職員にもこの話を伝えて施設全員で利用者の気持ち、思いを汲み取っていくことができたと思います。
- ・ 多くの意見が出て参考になりました。
- ・ 色々な意見や考え方が聞けたので良かったです。
- ・ 久々に対面での研修を受講でき大変良かったです。ありがとうございました。
- ・ ACPを知らなかった。大変良い気づきとなった。高齢者介護の在り方、社会の問題（医療）を知るきっかけとなった。一つ一つ、自分にできることを考え実行していきたい。